

# 新型コロナウイルスワクチン接種について

紙面の記載内容は4月1日現在の情報となります。今後変更となる可能性がありますのでご注意ください。

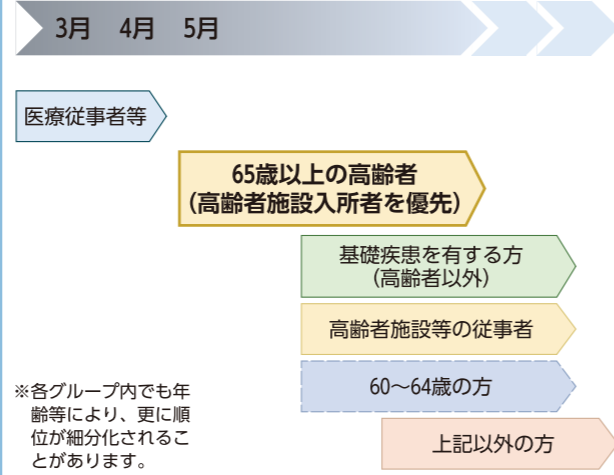
## ■ワクチン接種の概要

- 【対象者】 区内在住の16歳以上(任意)※1
- 【接種回数】 2回
- 【接種費用】 無料
- 【接種方法】 事前にウェブまたはコールセンターに電話で予約の上、接種会場へ
- 【接種順位】 ①65歳以上高齢者(施設入所者を優先)  
②基礎疾患がある方※2  
③高齢者施設等の従事者  
④60～64歳の方  
⑤それ以外の方

※1 区外施設に入所されている方など住所地外での接種をご希望の方の手続きについては決まり次第お知らせします。  
※2 予めかかりつけ医とワクチン接種についてご相談の上、自己申告による優先接種となる予定です。

## ■接種スケジュール

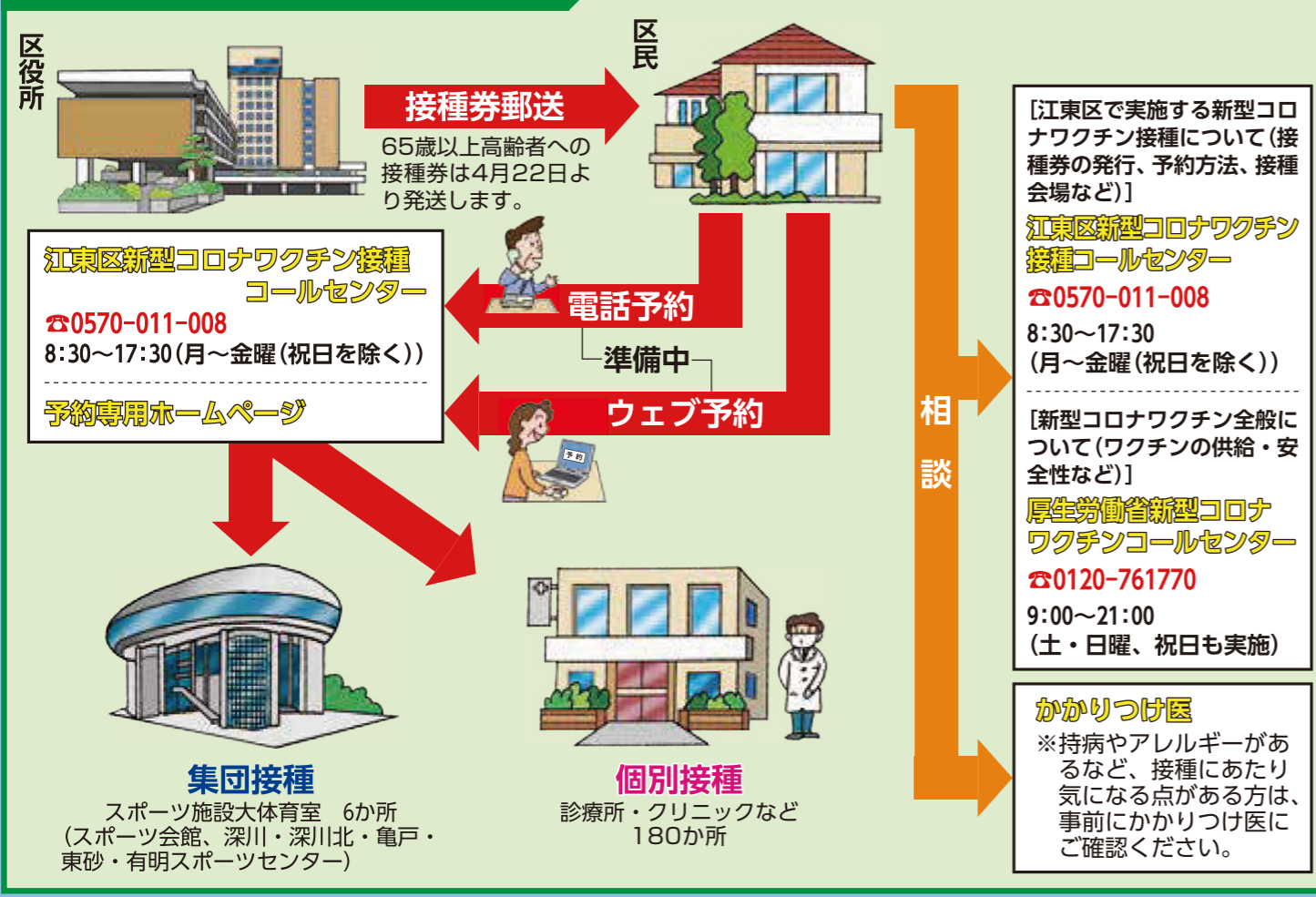
※国の指針、ワクチンの供給量等によって変更になる場合があります。



※各グループ内でも年齢等により、更に順位が細分化される場合があります。

## ワクチン接種イメージ

※現時点でのイメージです。内容が変更になる場合があります。



※記載のイラストは江東区資料より転載

新型コロナウイルスワクチン接種に関することや生活に関することなど、ご相談は気軽に江東区議会自民党 川北直人事務所までお寄せください。

〒135-0021 東京都江東区白河1-2-1-203

電話03-5621-6288 FAX03-5621-6266 E-mail 7010kawakita@gmail.com

# NIK TIMES 2021

## 歴史・伝統・文化を守り、次世代へつなぐ



- 令和3年度区議会第1回定例会が閉会
- 新年度予算、補正予算での取り組み
- 新型コロナウイルスワクチン接種体制について

江東区議会では、2月24日に令和3年第1回定例会が招集され、令和3年度当初予算案など予算案10件、条例案10件、議員提出議案2件など、合計24件の議案を審議、全ての原案を可決し3月30日に閉会しました。

令和3年度の当初予算は、一般会計2,171億2,900万円(前年比+1.8%)特別会計(国民健康保険、後期高齢者医療保険、介護保険の3会計)963億4,400万円(同+0.6%)、合計3,134億7,300万円(同+1.0%)と過去最大の予算規模となりました。しかしながら、所得環境の悪化による特別区民税等の減収が見込まれることから、財政調整基金より財源不足分78億円を繰入れるなど、コロナ禍による影響が歳入面に現れております。

こうした状況を踏まえ、全事務事業の総点検や公共施設改修・改修等の事業規模、実施時期について合計291事業の見直しを行い約30億円の歳出削減を計りつつ、ポータルサイト広告収入や駐車場有料化、江東花火大会の有料席設置等の財源確保策を拡充しました。

当初予算の新たな取組みでは、小中学校の全児童生徒及び全教員へのタブレット端末の配布や教育支援ソフトの導入、中小企業・小規模事業者のICTツール導入経費補助、保育所等施設者のICT化、新生児・産婦訪問指導や経営相談事業等のオンライン面談対応、庁内業務へのRPA導入など、コロナ禍で課題が浮き彫りとなった

自治体業務のICT化に積極的に取り組むと共に、私が必要性を訴えてきた災害廃棄物処理計画の策定や町会自治会が設置する防犯カメラのランニングコスト補助なども予算化されました。

今定例会では、新型コロナウイルスワクチン接種にかかる経費や離職者・内定年消費者の支援としての緊急雇用、資金融資の拡充、飲食店補助など、新型コロナウイルス対策として約56億6,000万円に及ぶ令和3年度補正予算案第1号を編成し可決成立しました。(令和3年度予算、補正予算の新たな取り組みやワクチン接種体制については中面裏面を参照下さい)

また江東区監査委員として年明けより8校園の区立小・中学校や幼稚園について、日常の感染予防対策やICTの活用など、コロナ禍における教育現場の対応状況を中心に監査を行うと共に、各校園長先生より、「地域との連携を図れない」「リモート資器材が不足している」といった諸課題を伺って参りました。現場の声を今後の議会活動に活かして参りたいと思っております。

コロナ禍といった前例のない事態に直面する中にあっても、ICTの積極的な活用や事務事業の見直し、歳入確保策の拡充など、大きな改革に果敢に挑んでいくことで、新しい未来に向けて区民生活を支える施策を着実に進めていく「前進の一年」として参ります。

「令和3年度当初予算」区民生活をサポートし、新しい未来への飛躍予算が可決

# 令和3年度当初予算『区民生活をサポートし 新しい未来への発進予算』の取組み

区議会第1回定例会で可決した令和3年度当初予算をはじめ、令和2年度補正予算9号、令和3年度補正予算第1号での新型コロナウイルス感染症対策や新たな取組みについて、抜粋してご報告します。

## 1 健康・福祉

### ○新型コロナウイルスワクチン接種体制の確保

ワクチン接種にかかる経費やクーポン券の作成・郵送、コールセンターの運営、集団接種会場の運営など

### ○感染症対策事業を継続

区PCRセンターの設置や患者搬送用車両の導入、自宅療養サポートセットの支給など令和2年度補正予算での対応を継続



PCRセンター

自宅療養サポート

### ○在宅要介護者や介護事業者を支援

在宅介護をしている家族等がコロナウイルスに罹患した場合、要介護者の自宅にヘルパー等を派遣

### ○介護サービス、障害福祉サービス事業所でのPCR検査費用を補助

職員や施設利用者へのPCR検査費用を補助

### ○オンラインで高齢者のサークル活動を支援

活動実施が困難な状況にある高齢者のサークル団体を対象に、オンラインでサークル活動ができるようICT利活用の講座や体験会を開催



「KOTO生き粋体操」など高齢者の体力の維持・向上に加えて日常のコミュニケーションにオンラインを導入

## 2 産業・生活

### ○区内中小事業者への支援策を拡充

資金融資限度額を1千万円から2千万円に引き上げし拡充、借換資金限度額を2千万円で新設。その他に、ICT導入に取り組む事業者へ専門員の派遣やICT導入費用の補助、商店街空き店舗を活用して開業する事業者への家賃補助を開始。また、これまで3つに分かれていた資金繰りや経営に関する相談窓口を統合。

### ○緊急雇用を実施

コロナウイルスの影響により内定取消や離職となった方々を対象に会計年度任用職員20名を雇用

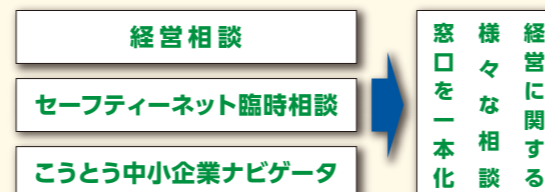
### ○飲食店への支援を拡充

テイクアウトやデリバリーを実施することみせ登録店舗に対し、消費者還元策や容器代等の費用を補助

### ○江東区ゆかりの渋沢栄一関連イベントを開催

区内に居住し、旧深川区の初代区会議長や深川区教育会会長を歴任した渋沢栄一と本区とのつながりを区内外にPRするため、講演会や観光ガイドによるイベントツアーを開催

#### 相談窓口を統合し一本化へ



## 3 こども・教育

### ○区立小中学校のICT化を推進

タブレット端末の児童・生徒1人1台貸与や電子黒板等のICT機器の導入、校内LANの高速大容量化などを整備。中学校教科書改訂に合わせて、指導者用デジタル教科書を全校に導入（1校につき1教科選択）。ブリッジスクールへの家庭学習用教育支援ソフトの導入。

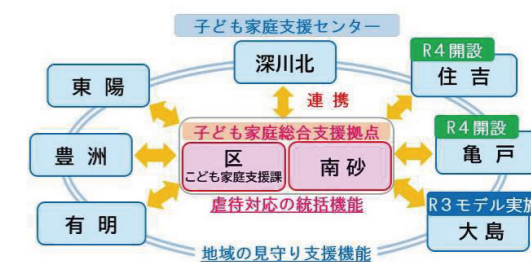
### ○児童向け複合施設や子ども家庭支援センター2か所を新設整備

児童会館跡地（住吉1）を活用し、子ども家庭支援センターとこどもとしょかんを合築した児童向け複合施設や住吉・亀戸地域に子ども家庭支援センターを2か所整備し、区内8か所体制に。

### ○子どもの見守り支援機能を強化

支援が必要な家庭に早期にかつ、よりきめ細かな対応で虐待を予防するため、子ども家庭支援センターに訪問支援等を行う訪問支援ワーカーを配置。

#### 子育て家庭支援体制イメージ



## 4 緑・環境

### ○食品ロス削減推進計画を策定

一般廃棄物処理基本計画の改定を実施し、食品ロス削減推進計画を盛り込む。また廃棄物に関する現況（ごみの排出量等）と課題分析を踏まえ、区民に分かりやすく、ごみ減量に効果的な計画を策定。

### ○災害廃棄物処理計画の策定

激甚化する風水害など、あらゆる災害を想定し、災害種別ごとの廃棄物の量の推計や廃棄物処理の体制などについて定め、災害時にあっても区民の生活環境の保全と公衆衛生上の支障を最小限に。



災害派遣作業の様子

## 5 防災・まちづくり

### ○街頭防犯カメラの維持管理経費を補助

町会・自治会及び商店街が設置する防犯カメラの新規設置費用に加え、新たに電気代や保守・修繕などの維持管理経費を補助

### ○大雨浸水ハザードマップを改定

水害ハザードマップの前提条件となる降雨規模を東海豪雨から想定される最大降雨規模（時間最大雨量114mm→153mm、総雨量589mm→690mm）に変更し、ハザードマップを改定。